

1か月の動き

1月

- 17日 ▽午前5時46分発生。気象庁は神戸、洲本が震度6（烈震）と発表。京都、彦根、豊岡が5（強震）▽阪神間などでビル、家屋や鉄道、高速道路の橋脚などが倒壊▽電気100万世帯、ガス、水道、電話も各所でストップ。交通網は寸断▽6市5町に災害救助法適用。
- 18日 ▽午後10時45分現在、死者2679人、行方不明891人。避難者28万7000人▽神戸市長田区を中心とした火災の焼失面積は100㏦以上に。
- 19日 ▽渋滞で緊急物資輸送が滞り、兵庫県は国道2号線などを一般車両通行禁止に▽村山首相と土井衆院議長が視察
- 20日 ▽気象庁が神戸・三宮付近と北淡、一宮両町の一部を震度7（激震）に初適用▽新設の地震対策担当相に小里貞利・北海道沖縄開発庁長官が就任。
- 21日 ▽午後10時45分現在、死者4706人、行方不明230人。
- 22日 ▽政府が被災者住宅として仮設、公営など計2万2400戸確保を表明。
- 23日 ▽死者5000人を突破▽避難者は31万6678人に▽電気ほぼ復旧▽神戸ー西宮間で代替バス運行開始▽1週間で延べ警察8万人、自衛隊8万5000人らが救助活動に従事。
- 24日 ▽政府が「激甚災害」に指定。
- 25日 ▽災害救助法適用は兵庫県と大阪府の計15市7町に。
- 26日 ▽神戸市が「震災復興対策本部」設置▽関西電力が被害額2300億円と発表。
- 27日 ▽中国自動車道が全線開通。
- 28日 ▽政府が全半壊の個人住宅やマンションなどの解体費全額公費負担を決定。
- 30日 ▽国道43号線が全区間で通行可能に。初めて阪神間の動脈がつながる。
- 31日 ▽天皇、皇后両陛下が被災地慰問▽神戸市が6地区233㏦を建築制限地域指定▽午後10時45分現在、死者5102人。伊勢湾台風を上回り戦後最悪の自然災害に。

2月

- 1日 ▽電話の応急復旧完了。
- 2日 ▽兵庫県の推定被害額9兆5060億円▽他地域へ転入学した児童・生徒が2万人を突破▽淡路島・緑町で被災地初の仮設住宅入居開始。
- 3日 ▽借地借家人保護のため罹災都市借地借家臨時処理法を33市町に適用決定。
- 4日 ▽未検視の犠牲者を震災集計に加え死者数は一挙に140人増加し5244人に。
- 5日 ▽兵庫県の調査で県内のマンションやアパートなど5080か所が「危険」▽産業復興会議初会合。
- 6日 ▽神戸市の約7割の245校園が再開▽同市で罹災証明書の発行開始。
- 7日 ▽阪神尼崎駅構内で回送電車が脱線▽震度7の地域拡大。須磨から西宮にかけての地域など10地域▽兵庫の被害家屋戸数は15万787戸▽神戸で義援金支給開始▽神戸市復興計画推進委員会の初会合。
- 8日 ▽「兵庫県南部地震震災復興宝くじ」の4月11～20日発売決定。
- 9日 ▽死者の89%が圧迫・窒息死、10%が焼死。兵庫県警調べ▽神戸市選管が統一選延期の要望書を県選管に提出。
- 10日 ▽「阪神・淡路復興委員会」設置を閣議決定。
- 15日 ▽神戸市の仮設住宅入居開始。第1次募集の申込者は8倍に。



三菱銀行兵庫支店

兵庫区の中央幹線に面する鉄筋6階建て。1968年6月築。現在、撤去作業中（1月17日撮影）

海淑（キムヘス）
（三）が大事にしていた圧力なべのプラスチック製のふたを壊してしまったことから、夫婦げんか。そのわだかまりが残っていた。海淑は午後十一時、気晴らしに大邱郊外に住む母親に国際電話。「ゴンガンアセヨ（元気にやってみよう）。久しぶりの母親の言葉に、モヤモヤも少し晴れてきた。だれもが、いつも通りの明日が来ると信じていた。

丸紅に勤務する中国人女性の伍鳴（ミ）はそこ、西宮市甲子園口三の自宅から上海の父伍受天（ミ）に電話をかけていた。「春に設立する会社のことなんだけど……」。一九九二年四月、北京語、広東語、英語、日本語、ドイツ語を話せる語学力を見込まれ中国籍の正社員として採用された。新設の繊維素材開発部の企画員に抜てきされたが独立を決意、三月に退職する予定だった。

昨年暮れに父が上海で設立した貿易会社と連携をとり、「一緒に会社を大きくしよう」と夢見ていた。父との電話が済んだ後、友人と福井県にスキーに出かけていた中国古箏演奏家の妹、伍芳（ミ）のことが気になり、ポケットベルを鳴らした。妹は神戸の友人宅にいた。「こちらで泊まるから」「わかった。じゃーね。おやすみ」